

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構  
令和元年度契約監視委員会（第2回）議事録

1. 日 時 令和元年10月9日（水） 13:30～16:30
2. 場 所 農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 本館1階 第4会議室
3. 出席者 高橋委員長、菊池委員、國井委員、渡邊委員  
中根委員、青田委員、柏原委員

4. 議 題

(1) 農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
- ② 随意契約、一者応札・応募の点検数量について

(2) 令和元年度第1四半期に実施した契約案件の点検

- ① 競争性のない随意契約（13件）（平成31年4月～令和元年6月）
- ② 一者応札・応募案件（61件）（平成31年4月～令和元年6月）

(3) その他

5. 議事概要

上記議題について事務局からの説明後、点検が行われた。主な内容は以下の通りであった。

(1) 農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告  
・特になしの旨報告した。

(2) 令和元年度第1四半期に実施した契約案件の点検

① 競争性のない随意契約

- ・前回委員会からの継続審議案件（「細胞封入用デバイス半自動製造装置設計業務」（生物機能部門））について、契約監視委員から「事務局側から随意契約の合理性を確認するのに十分な関係資料が提出されなかったため、当該事案の合理性を判断することはできない」とする結論が提示された。
- ・価格が適正かどうかの判断に当たって相手方の経常利益率の確認が必要となる事案について、その数値が提出資料及び担当者からの説明では確認できなかったため、次回委員会で確認し報告することとなった。
- ・共同開発したプログラムを他の業者に開示できないことを理由として随意契約とした事案について、当該プログラムの開示の可否が提出資料及び担当者からの説明では確認できなかったため、次回委員会で確認し報告することとなった。
- ・ホームページで公表している、随意契約に係る情報の公開の「随意契約によることとした理由」と委員会資料の「競争性のない随意契約によらざるを得ない事由」が相違していることが散見されるので、正確に記載するよう指摘があった。

② 一者応札・応募案件

- ・一者応札・一者応募に関して入札方法、不参加者へのアンケート調査、予定価格の積算などに関し点検が行われた。
- ・点検の結果、特段の意見はなかった。

以 上